



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報  
 平成 29 年第 7 週 (2/13~2/19) 【概要版】  
 平成 29(2017)年 2 月 23 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- (1) 報告数が多かった疾患は、インフルエンザ、感染性胃腸炎と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎です。
- (2) インフルエンザ  
全県に警報が発令されています。インフルエンザによる入院患者も高い値で推移しています。
- (3) 感染性胃腸炎  
全県にノロウイルス食中毒注意報が発令されています。
- (4) 咽頭結膜熱および流行性耳下腺炎  
過去 5 年の同時期と比べて非常に多く報告されています。

2. 報告数が多かった小児科定点把握疾患(五類感染症) (i)

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)						
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
インフルエンザ	31.30	27.25	21.37	警			警	注	注	注	注	警	注
感染性胃腸炎	5.78	5.25	4.65				多			多	多	多	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.69	0.78	0.97				多	多	↑	多			多
流行性耳下腺炎	0.53	0.50	0.61		○	○	多					多	

(2) 前週の全国および近隣府県の状況(下線; 滋賀県よりも多い)

疾患	全国	滋賀県	大阪府	京都府	福井県	岐阜県	三重県
インフルエンザ	<u>28.57</u>	27.25	26.64	24.70	<u>35.06</u>	27.16	27.18
感染性胃腸炎	5.01	5.25	4.08	3.43	<u>6.09</u>	3.79	2.64
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<u>2.17</u>	0.78	<u>1.48</u>	<u>1.17</u>	<u>1.95</u>	<u>0.87</u>	<u>1.62</u>
咽頭結膜熱	<u>0.31</u>	0.16	<u>0.36</u>	<u>0.25</u>	<u>0.41</u>	<u>0.28</u>	<u>0.58</u>
流行性耳下腺炎	<u>0.53</u>	0.50	<u>0.75</u>	0.25	0.41	<u>0.62</u>	0.16



3. 全数把握疾患(滋賀県、今週診断例)

類型	疾病名	滋賀県					保健所別						
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
二類	結核	2	12	8	○		5	1	1			1	
五類	梅毒	0	0	1	○			1					
五類	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	1	○					1			

- i. 定点把握疾患:人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握
- ii. 警;警報発令、注;注意報発令
- iii. 今週の値が過去 5 年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去 5 年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用)
- iv. 「警;警報開始基準値を超過」、「注;注意報基準値を超過」、「多:今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑:前週比増加」(「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記)

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

平成 29 年第 7 週 (2/13~2/19) 【詳細版】

平成 29(2017)年 2 月 23 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント(概要版より再掲)

- (1) 報告数が多かった疾患は、インフルエンザ、感染性胃腸炎と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎です。
- (2) インフルエンザ  
全県に警報が発令されています。インフルエンザによる入院患者も高い値で推移しています。
- (3) 感染性胃腸炎  
全県にノロウイルス食中毒注意報が発令されています。
- (4) 咽頭結膜熱および流行性耳下腺炎  
過去 5 年の同時期と比べて非常に多く報告されています。

2. 定点把握疾患(五類感染症)の定点当たり報告数(全国は前週の値) i, ii, iii, iv

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県			保健所別 (iv)							全国 (前週) (iv)	基準値						
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大津 市	草津	甲賀	東 近 江		彦 根	長 浜	高 島	警報 開始	警報 終息	注意報	
インフルエンザ (定点数:53)	インフルエンザ	31.30	27.25	<b>21.37</b>	<b>警</b>			<b>29.60</b>	<b>16.30</b>	<b>17.29</b>	<b>24.63</b>	<b>12.57</b>	<b>22.29</b>	<b>30.00</b>	28.57	30	10	10	
	RSウイルス感染症	0.25	0.19	0.19				0.33	0.17	0	0.20	0	0.25	0.50	0.25	—	—	—	
	咽頭結膜熱	0.31	0.16	0.35		○	○	0.67	0.50	0	0.40	0.25	0	0.50	0.31	3	1	—	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.69	0.78	0.97				1.33	1.50	0.50	1.20	0	0.25	2.00	2.17	8	4	—	
	感染性胃腸炎	5.78	5.25	4.65				7.00	2.33	2.25	5.80	5.00	7.00	1.00	5.01	20	12	—	
小児科 (定点数:32)	水痘	0.22	0.31	0.55				0.33	0.17	0	1.60	0.75	0.75	0	0.28	7	4	4	
	手足口病	0.25	0.34	0.03				0	0	0	0.20	0	0	0	0.14	5	2	—	
	伝染性紅斑	0.03	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.06	2	1	—	
	突発性発しん	0.28	0.19	0.26				0.50	0.33	0.25	0.20	0.25	0	0	0.33	—	—	—	
	百日咳	0	0.03	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	1	0	—	
	ヘルパンギーナ	0.13	0	0.16		○	○	0.17	0	0	0	0	0	0	2.00	0.02	6	2	—
	流行性耳下腺炎	0.53	0.50	0.61		○	○	1.67	0.33	0.50	0	0.50	0.75	0	0.53	6	2	3	
	眼科 (定点数:8)	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	1	0.1	—
		流行性角結膜炎	0.13	0.25	0				0	0	0	0	0	0	0	0.41	8	4	—
		細菌性髄膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	—	—	—
無菌性髄膜炎		0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.03	—	—	—	
基幹 (定点数:7)	マイコプラズマ肺炎	0.86	0.29	0.14				0	0	0	0	0	1.00	0	0.42	—	—	—	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	—	—	—	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.10	—	—	—	
	インフルエンザ (入院例に限る)	2.86	3.00	1.43				3.00	0	0	2.00	0	0	5.00	2.79	—	—	—	

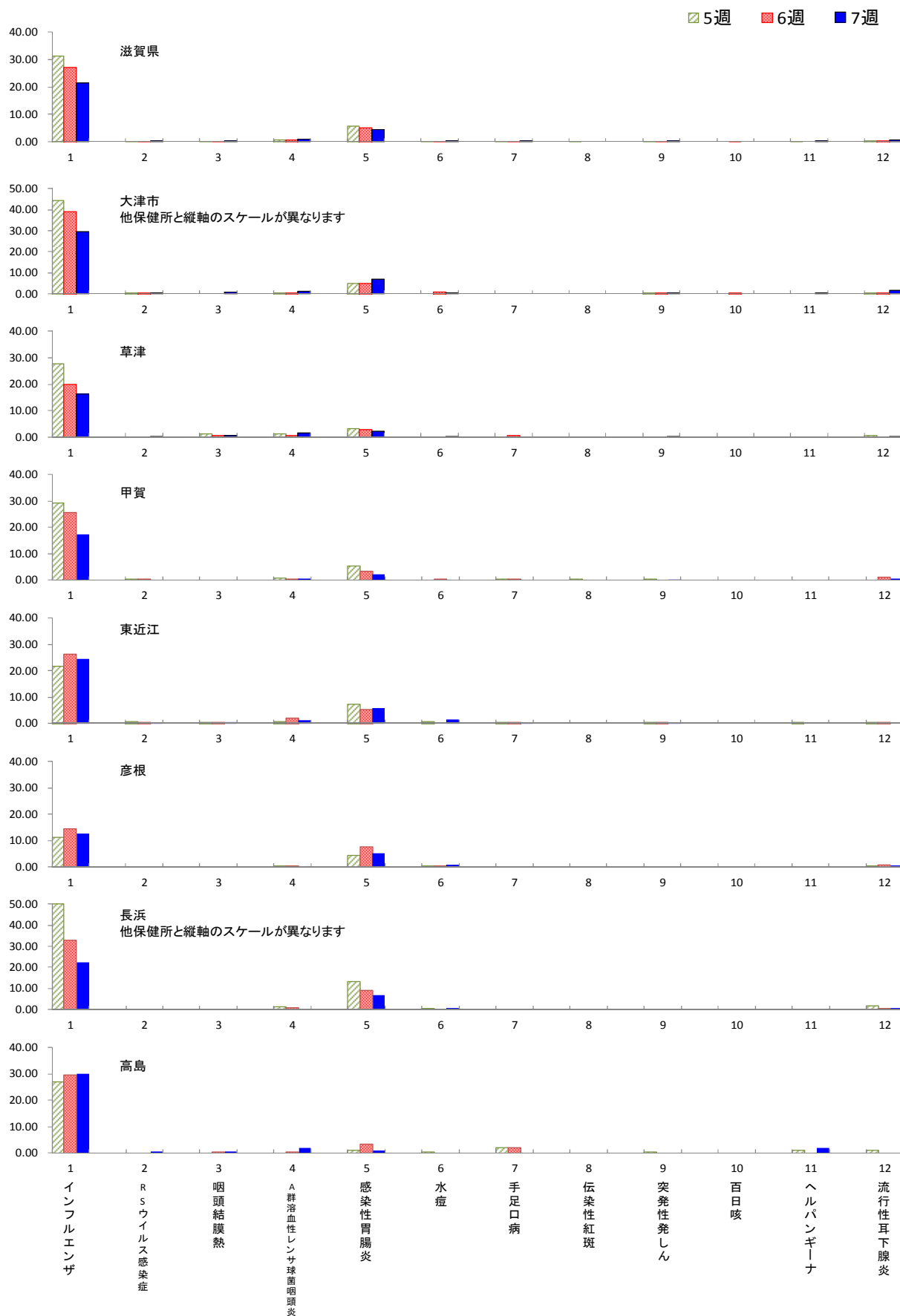
i 定点把握疾患:人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

ii 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の 30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。

iii 今週の値が過去 5 年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値 + 2 × 標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去 5 年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用)

iv **赤字斜字**:警報開始基準値を超過、**紫字斜字**:注意報基準値を超過

### 3. 定点把握疾患(五類感染症)の保健所別推移(滋賀県、今週と過去 2 週)



#### 4. 定点把握疾患(五類感染症)の年齢階級別報告数 (滋賀県、今週)

インフルエンザ定点 (53医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	1111	3	13	41	44	54	61	72	56	50	75	42	151	55	63	85	70	58	33	37	48
大津市保健所	296	-	1	7	6	9	8	25	11	14	16	12	46	22	19	22	28	18	5	19	8
草津保健所	163	-	3	5	11	5	10	10	11	6	10	4	24	4	12	16	10	5	4	6	7
甲賀保健所	121	-	1	4	4	9	10	9	7	8	10	8	16	8	6	7	5	7	2	-	-
東近江保健所	197	3	2	9	14	14	13	11	9	12	9	8	30	4	9	13	11	8	7	4	7
彦根保健所	88	-	2	3	1	6	9	6	3	2	8	1	8	2	6	7	5	9	4	2	4
長浜保健所	156	-	3	11	6	9	8	8	11	6	5	5	17	9	10	14	8	9	7	3	7
高島保健所	90	-	1	2	2	2	3	3	4	2	17	4	10	6	1	6	3	2	4	3	15

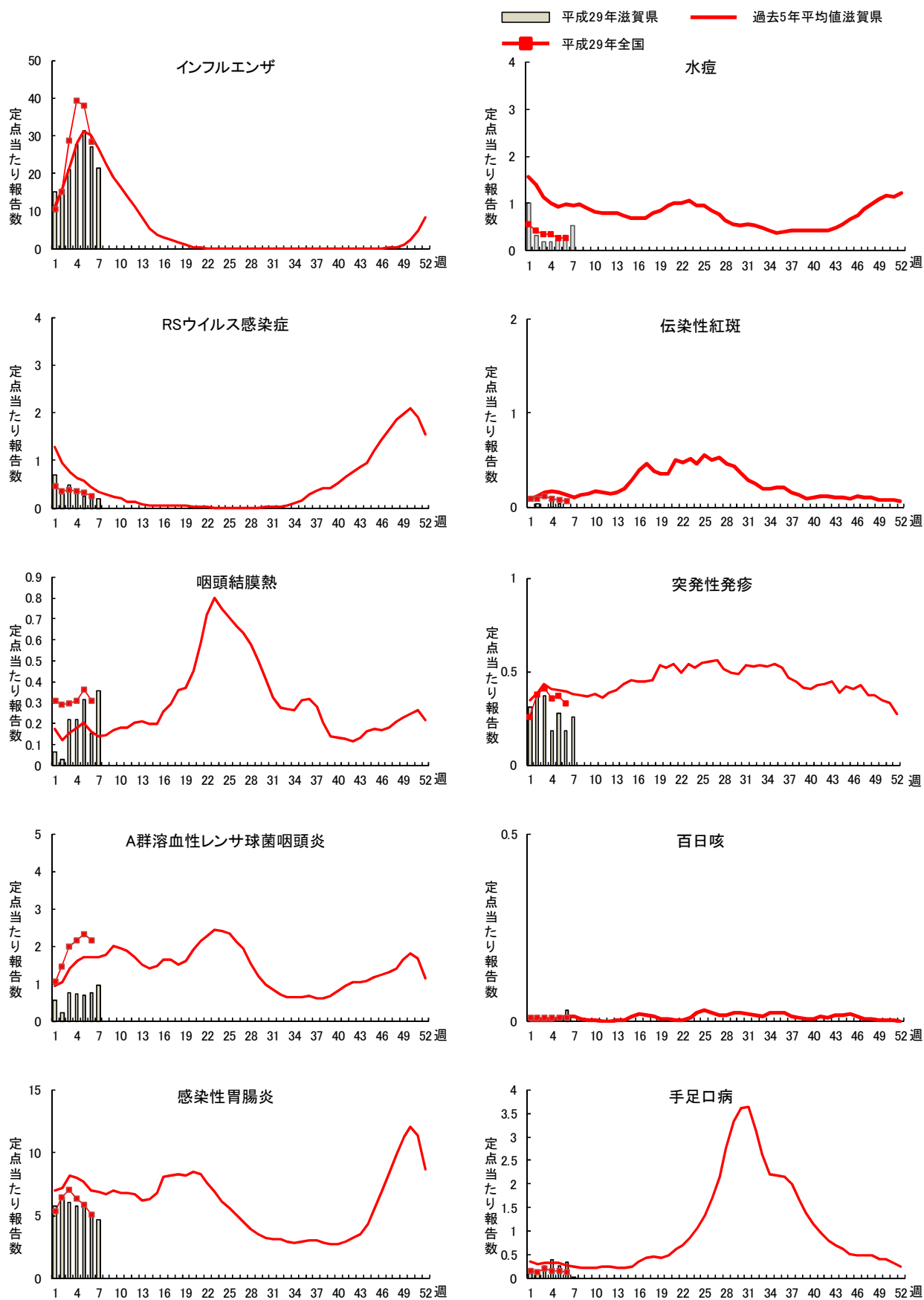
小児科定点 (32医療機関)	総数	0～5ヶ月	3～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	6	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	11	-	2	3	1	1	1	2	-	1	-	-	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	30	-	-	2	-	2	4	6	5	4	4	-	3	-	-
感染性胃腸炎	144	-	7	15	12	16	22	11	13	9	6	4	9	3	17
水痘	17	-	-	2	1	-	4	3	4	-	2	1	-	-	-
手足口病	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	8	-	3	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	5	-	-	1	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	19	-	-	-	-	-	5	2	2	4	4	1	1	-	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

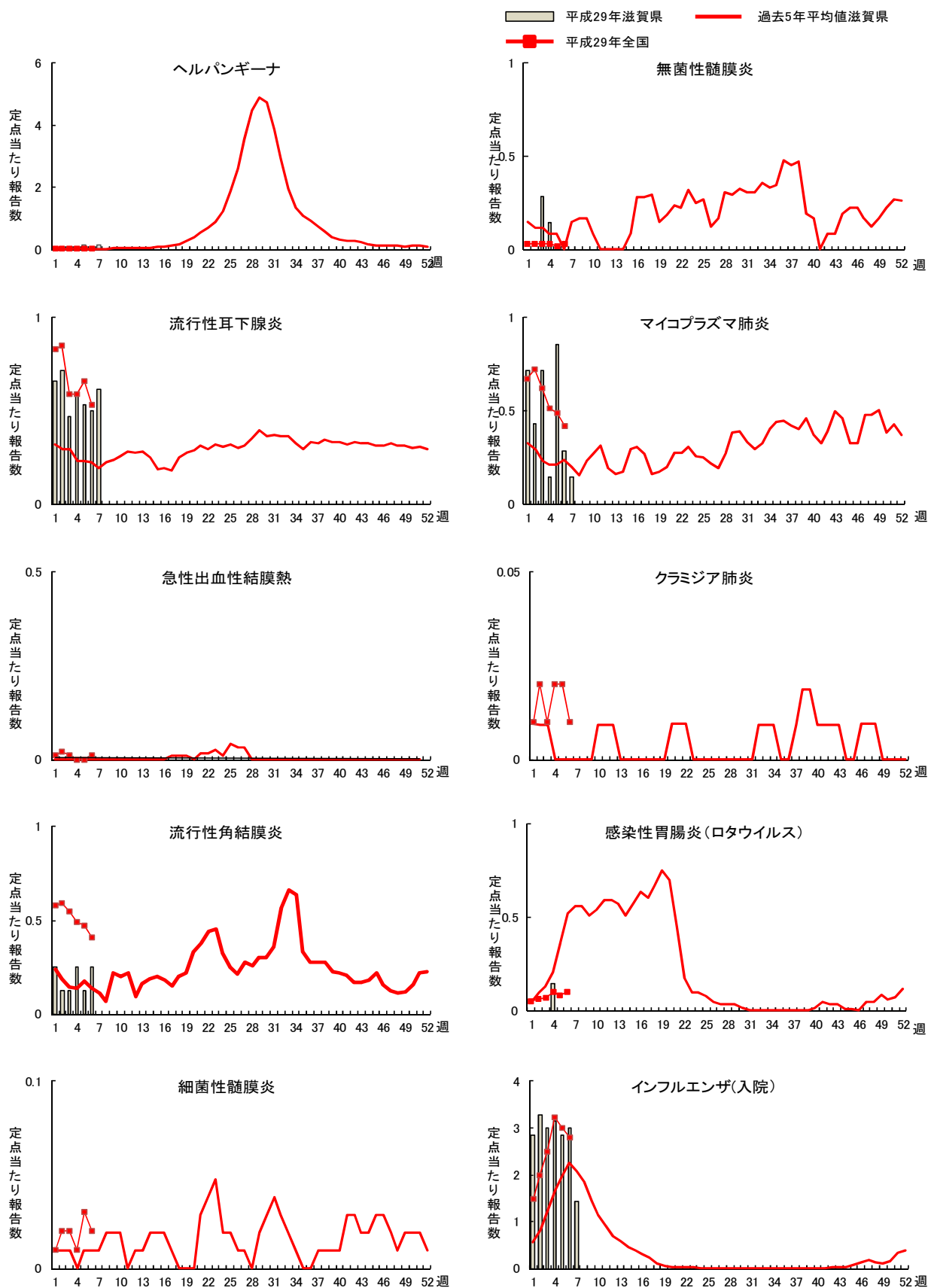
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」: 報告なし

5-1. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



5-2. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



6. 全数把握疾患 詳細情報(今週報告例) <sup>▽</sup>

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	予防接種歴	病原体等
二類	結核	07	大津市	50歳代	女	無症状病原体保有者	県内	-	-
	結核	07	大津市	50歳代	男	無症状病原体保有者	県内	-	-
	結核	07	大津市	60歳代	男	無症状病原体保有者	県内	-	-
	結核	07	大津市	30歳代	女	肺結核	国外	-	-
	結核	07	大津市	50歳代	女	無症状病原体保有者	県内	-	-
	結核	07	草津	80歳代	男	肺結核 結核性胸膜炎	国内	-	-
	結核	07	甲賀	40歳代	男	頸部リンパ節結核	県内	-	-
	結核	07	長浜	80歳代	女	肺結核	国内	-	-
五類	急性脳炎	06	草津	10歳未満	男		県内	-	インフルエンザ ウイルス
	クロイツフェルト・ヤコブ病	07	東近江	50歳代	男	孤発性(その他)	県内	-	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	06	大津市	90歳代	女		県内	無	-
	侵襲性肺炎球菌感染症	06	草津	10歳未満	男		国内	-	-
	梅毒	07	草津	30歳代	男	無症状病原体保有者	国内	-	-

## 注目すべき感染症

## ■インフルエンザ（国立感染症研究所）

(1) 注目するべき感染症(第 5 週 感染症週報) 2 月 17 日更新

<http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/idwr/IDWR2017/idwr2017-05.pdf>

(2) インフルエンザトップページ

疾患の説明、全国の流行レベルマップ、インフル様疾患発生報告(学校欠席者数)、インフルエンザウイルス分離・検出速報などのリンクが紹介されています。

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/diseases/a/flu.html>

## ■感染性胃腸炎

(1) ノロウイルス等検出情報（国立感染症研究所）1 月 26 日更新

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html>

(2) 病原体検出情報 IASR Vol. 38, No.11 (No. 443)

ノロウイルス感染症が特集されています。

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/allarticles/surveillance/2354-iasr/iasr-archive/iasr-vol38/7027-idx443.html>

## ■3 月 1 日～7 日は「子ども予防接種週間」です。

(1) 平成 28 年度「子ども予防接種週間」の実施について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000150611.html>

(2) 予防接種・ワクチン啓発ツール(国立感染症研究所)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/id/249-vaccine/vaccine/6860-vaccine-tool.html>

<sup>▽</sup> 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別(平成 29 年、全国は前週までの値) <sup>vi,vii</sup>

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国 (前週)	昨年累積報告数	
	例年より 多い	例年より 非常に多い	累積 報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		滋賀県	全国
二類 結核	○		38 2.69	15 4.40	8 2.38	7 4.83	2 0.87	2 1.28	1 0.64	3 6.08	2185 1.72	249 17.59	23854 18.79
三類 腸管出血性大腸菌感染症	○	○	3 0.21	0 0	0 0	3 2.07	0 0	0 0	0 0	0 0	72 0.06	56 3.96	3641 2.87
四類 A型肝炎			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	18 0.01	7 0.49	269 0.21
オウム病			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0.07	6 0.00
つつが虫病	○		1 0.07	0 0	1 0.30	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	34 0.03	1 0.07	500 0.39
デング熱			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	25 0.02	4 0.28	338 0.27
レジオネラ症			1 0.07	0 0	1 0.30	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	103 0.08	28 1.98	1592 1.25
五類 アメーバ赤痢			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	121 0.10	8 0.57	1133 0.89
ウイルス性肝炎			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	28 0.02	4 0.28	273 0.22
カルバペネム耐性 腸内細菌感染症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	150 0.12	11 0.78	1555 1.23
急性脳炎			1 0.07	0 0	1 0.30	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	98 0.08	3 0.21	750 0.59
クロイツフェルト・ヤコブ病	○		1 0.07	0 0	0 0	0 0	1 0.44	0 0	0 0	0 0	22 0.02	1 0.07	172 0.14
劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	○	○	2 0.14	0 0	0 0	0 0	1 0.44	0 0	1 0.64	0 0	59 0.05	5 0.35	492 0.39
後天性免疫不全症候群			1 0.07	1 0.29	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	133 0.10	10 0.71	1428 1.13
ジアルジア症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	4 0.00	4 0.28	71 0.06
侵襲性 インフルエンザ菌感染症	○		1 0.07	0 0	0 0	0 0	0 0	1 0.64	0 0	0 0	48 0.04	3 0.21	307 0.24
侵襲性肺炎球菌感染症	○		6 0.42	4 1.17	1 0.30	0 0	1 0.44	0 0	0 0	0 0	428 0.34	40 2.83	2693 2.12
水痘(入院例)			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	23 0.02	2 0.14	313 0.25
梅毒	○		1 0.07	0 0	1 0.30	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	456 0.36	30 2.12	4518 3.56
播種性クリプトコックス症			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	15 0.01	2 0.14	136 0.11
破傷風			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	3 0.00	3 0.21	128 0.10
麻しん			0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	26 0.02	1 0.07	159 0.13

<sup>vi</sup> 今年第 1 週以降に診断された感染症の累計報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に今年の「累積報告数」、下段に「人口 10 万人当たりの累積報告数」を記しています。

<sup>vii</sup> 今年と過去 5 年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記



**【参考】今週の学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)概況(滋賀県、今週)**

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。

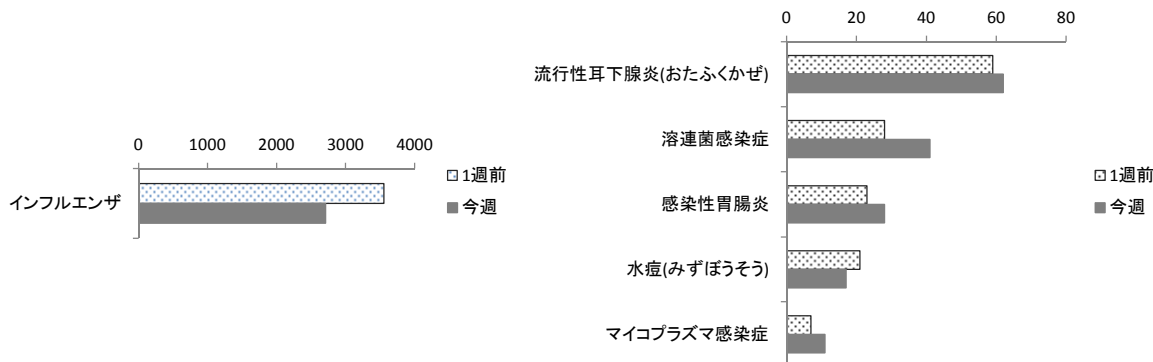


図. 学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)において登録数の多い疾患(第7週)  
横軸:登録数

**【全国情報】 国立感染症研究所 感染症疫学センターHP に掲載されています。**

- 感染症発生動向調査 週報(IDWR) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>
- 病原微生物検出情報(IASR) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>
- インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

**【届出対象疾患】 厚生労働省 HP に掲載されています。**

- 感染症法に基づく医師の届出のお願い  
[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_jiryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_jiryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html)

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP  
<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/ef45/kansen-c/index.html>



イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」

# インフルエンザの発生動向 平成29年7週 滋賀県

